

2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習Ⅱ		
担当教員名	大矢 奈美		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>「演習Ⅰ」では、履修者各自が学位論文の研究手法や使用するデータについて検討をおこなった。ここでは、学会等での報告や学位論文執筆にむけた実証分析をおこない、その理論的枠組みおよび手法の妥当性や、結果の解釈について議論する。</p>		
科目内容・方法等	<p>研究テーマに沿って、実証分析を進める。仮説の設定、理論的枠組み、データ収集、分析の流れについて確認する。</p> <p>「学位論文執筆認定審査」を通過できるよう、学会報告、論文作成の準備、指導を行う。その内容については、「研究報告会」で、報告してもらおう。詳細は、履修者と相談の上、決める。</p>		
<p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論的な枠組みをもって仮説を設定し、データ収集、推定および分析が適切に行えるようになること。 ・実証分析を扱う論文の構成を理解すること。 			
<p>評価方法及び評価基準：</p> <p>授業における報告への取り組み姿勢（2割程度）、報告内容（8割程度）により、研究科の成績評価基準に照らして評価を行う。</p>			
<p>授業の方法：</p> <p>受講生の問題意識に基づき、先行研究を参考に受講生が計量分析をおこなって報告することを基本とする。</p>			